

Ⅲ 中学部の研究

テーマ：A君のニーズを読みとり授業に活かす取り組み

研究協力者

金沢大学人間社会研究域 学校教育系 准教授 武居 渡 氏

中学部職員

神 谷 みつ江

荻 野 稔 朗

木 下 由 起

新 保 利 久

今 川 陽 子

田 村 吉 治

中 村 由美子

伊 藤 久美子

浦 宏 和

中 谷 至 子

Ⅲ 中学部の研究

テーマ：A君のニーズを読みとり授業に活かす取り組み

1. はじめに 21
 - (1) テーマ設定にあたって
 - (2) 「A君」について
 - (3) 中学部およびA君にとっての「授業」について

2. 研究の目的および経過 22
 - (1) 研究の目的
 - (2) ICF整理シートでの整理
 - (3) 付箋紙による行動観察の積み上げ
 - (4) 主体的に取り組む姿を育み増やすことをめざした授業作り
(授業実践と分析)

3. 授業実践と考察 27
 - (1) 「和紙作り」を通したグループでの取り組み
〔昨年度1年間の経過を振り返って〕
 - (2) 「ろうそく作り」を通した学級での取り組み
 - (3) 学部集団での「音楽」の取り組み
〔アクションリサーチの手法を参考にした試みを通して〕

4. まとめ 37

Ⅲ 中学部の研究

1. はじめに

(1) テーマ設定にあたって

学校研究テーマを受けた学部研究テーマを設定するにあたり、まず「ニーズ」という観点において、今、私たちが最も学ぶ必要性を感じていることについて話し合った。その中で、教師全員に共通していた思いが、「A君のことをもっと知りたい」ということであった。そこで、教師にとって把握が難しいと感じるA君の「思い」を精一杯読み取ること、それを授業につなげていくこと、その取り組みを丁寧に重ねていくことで、A君にとってのニーズや将来につながる姿がみえてくるのではないかと考え、研究1年目は「ニーズの読み取り」に焦点をあてた本テーマを設定した。

(2) 「A君」について

A君は中学部2年生（14歳）の男子で、知的障害を伴う自閉症である。

①各種検査による実態

新版K式発達検査（平成19年5月） 認知・適応 6:2 言語・社会 4:0
全領域 5:1 発達指数 39

田中ビネー知能検査（平成18年3月） IQ 36（CA 11:11）

②普段の様子から

言葉での表出は単語や2語文が多い。場に応じた言葉がタイミングよく出ることもある一方、自分の思いを的確に表現することが難しく、言葉の意図が要求だったり叙述や確認だったりすることもある。意に沿わないことに対しては「いや、いや」「しないね」とはっきり意思表示できる。教師にかまってほしい気持ちがあり、背中をツンツンつついて反応を楽しんだり、言葉遊びでかかわってきたりする。特定の友だちと嬉しそうにかかわり合う姿もみられる。ひらがなやカタカナは読め、予定などはしっかり把握している。自転車乗りや雑誌の付録の組み立て、パズルに興味をもっていった時期もある。保護者には、「自分の気持ちを言葉で伝える」「一人でできることはしてほしい」という思いがある。

③昨年度からの 授業への参加の様子

昨年4月の中学部進学直後は、集団学習にはほとんど入らずに、廊下や事務室など別の場所で一人でただボーッと床に寝そべっていたり、好きな電気コードで遊んでいたりが多かった。また、フラッシュバックによると思われるパニックを頻繁に起こし、急に奇声をあげて泣く、自分の頭をたたく、場にそぐわない言葉を連発する、机やいすを倒す等の行動がみられた。

そのようなA君に対して、心理的な安定を目指した指導を学校生活全般の場面において行った。たとえば、6～7月は、なかなか学級の「生活」の授業に参加できなかったため、級外教師がA君の興味のあるたこ焼き作りや自転車乗りなどを通して、個別に向き合う時間を多く設定した。その結果、7月頃にはパニックの頻度も少なくなり、2学期からは学級の「生活」に皆と一緒に参加できるようになった。

グループ学習においても、見通しの持てる興味ある活動を準備し、A君の役割の設定をするとともに、個別の課題も準備した。また、教師が一人付き添い、本人の気持ちに寄り添いながら、タイミングをみて学習へ誘う取り組みも続けた結果、10月頃には、教室で学

習活動に落ち着いて取り組むことが増えてきた。

今年度に入って、それまで活動場所に入ることさえ難しかった学部全員での毎朝のリズムタイムや体育、学部集会（ハッピータイム）の授業にも部分的に参加できるようになってきた。

しかし、学習活動に取り組むA君の姿が、本当にしたくてしているようには見えないことがあり、言葉を替えれば“やらされている”のでは、と教師がとまどい悩むことも少なからずあるのが現状である。

（3）中学部およびA君にとっての「授業」について

中学部では、この時期の教育において、自分で考え、選び、決定する経験、自分の意思表示、人とのかかわり合いを大切にしたいと考えている。それは、当然のことながら授業でめざしたい目標とも関連してくる。

小学部と高等部の間に位置する中学部では、個の集まりである集団での学習経験が大事であるとする。小学部6年間を経てきて社会性の育ちの芽がみえるこの時期には、それが可能になる。また、高等部での教育につながるこの時期には、“小さな社会”としての学部集団で、“社会性”を育てていくことが求められる。一つの設定された枠組みの中で、自分なりの居所ややりがい、楽しみ方を見つけていくことは、自己効力感を高めることにつながり、いずれ実社会に巣立っていく子どもたちにとって、必要不可欠な経験ではないだろうか。その枠組みの一つが授業であると中学部では位置づけている。仲間集団での学習活動、その中で相手がいてこそできる経験やそこから学べるが多々あろう。個別の配慮をしながら、集団の育ちと個の育ちの双方が期待できるものとして、中学部では集団での授業を重要だと捉えている。

A君に関しては、これまでの様子から、その知識や技術や見通しを持つ力などは、今までの学校生活で取り組んできた様々な学習や体験により育まれてきており、その中でたくさんの楽しさも経験してきたと感じられる。集団学習への参加もかなりできてきているため、興味をひく授業を教師が提供するとともに、友だちを意識しながら取り組む学習活動を通して、A君の主体的体験を一層増やしていくことができるのではないかと考えている。

2. 研究の目的および経過

（1）研究の目的

「A君の気持ちを推察して読み取り、受け止め、望ましい形で実現できるような授業作りに取り組むことで、A君の主体的な行動（自分から見る、聞く、まねる、やってみる等）を増やし、本人の内発性を高めていくことをめざす」

A君の「～したい思い」は、その行動によりはっきり現れ、さらにいろいろな行動の中でも、“自分から進んで取り組む”という姿が、今のA君のニーズの発信といえるのではないかと考えた。A君の内発性を高め、主体的な取り組み（内発的行動）を増やしていくことは、さらに本人の自信や誇りを高め、自己効力感を育み、要求の表出をより明確にするのではないだろうか。このような積み重ねが、A君のニーズを育むことにつながるのではないかと考え、上記のように目的を設定した。

(2) ICF整理シートでの整理

週1回の学部研究会において研究の方向性について確認した後、学部研究テーマにあるように、まずA君のニーズを読み取ることに重点を置き、ICF整理シートでの整理を試みた。その際、教師全員がA君の些細な発信を見逃さないようにするため、気がついたことについてすぐに付箋紙に書き留めていく手法をとった。付箋紙に書き留めて持ち寄って行った行動観察では、分析した結果をリアルタイムに授業実践に還元できるよう心がけ、研究を進めた。

以下は、ICF整理シートを使って行った分析である。A君のニーズが明らかになるのではないかという期待を持って、下記の図1のような整理を行った。

ICF関連図(整理シート)		
<p>【ICF関連図を使った話し合い】</p> <p>対象者: A君 歳 男・女 参加者: 中学部教師 ICF関連図作成日: 2008/10/7 再検討予定日:</p>	<p style="text-align: center;">健康状態</p> <p>(健康または病状) 自閉症</p>	
<p style="text-align: center;">心身機能・身体構造</p> <p>・山登りの体力がある</p> <p>・手指の巧緻性がある</p> <hr/> <p>〈情緒・機嫌等〉</p> <p>・こだわり</p> <p>・結んであるひもをほどく</p> <p>・フラッシュバック</p> <p>・自傷</p>	<p>(できる活動) 活動 ~課題や行為の個人による実行~ (している活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・罫りの握り付け ・牛乳を選手で表記 ・予定の見通し ・カレンダーがわかる ・挨拶がわかる ・画紙をとる ・目めくりをとる ・活動場面に入れる ・指示された活動をする <p>(活動制限)</p> <p>・人ごみよりも一人で1人のほうがよい</p> <p>・善悪の価値判断はあるが敬意にする</p> <p>・新しいことは取り組みに時間がかかる</p>	<p style="text-align: center;">参加 ~生活・人生場面へのかかわり~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズム運動に参加する ・クラスの友達の名前を知っている ・係りの仕事をやる(献立発表や生徒の動向表示) ・掃除で拭拭きの役割がわかり、拭く ・ろうそく作りに参加する ・和紙作りの工程の理解 ・見通しをもって参加できる <p>(参加制約)</p>
<p style="text-align: center;">環境因子 ~物的・人的・制度的環境~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の肯定的なかかわり ・視覚的な手がかりの準備 ・座席に甘える <p>〈風習因子〉</p>	<p style="text-align: center;">個人因子 ~興味・性格・習慣・態度・ライフスタイル・体力・価値観~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・叩くくすぐる ちょっかい ・ビデオカメラ、デジタルカメラ、パソコンなどの操作が好き ・かかわってほしい? ・予定に関心がある ・献立表が好き ・善悪の価値判断がある 	<p style="text-align: center;">主体・主観 ~本人の気持ち など~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かまってほしい ・かまわないでほしい ・予定を肯定してほしい ・甘えたい ・安心したい ・本当は嫌? ・褒めてほしい ・大人がしてほしくないことを敬意にする <p>(心の悩み・現状への不満など)</p>

* (参加・活動) の欄にふくまれるもの~運動・移動、セルフケア、学習と知識の応用、一般的知識と要素、コミュニケーション、対人関係、家庭生活、主要な生活領域、コミュニケーションライフ・社会生活・市民生活

図1 ICF整理シート

このICF整理シートでの整理において、全員で付箋紙メモを貼って分析を行う中で、A君は機械に興味があり新しいものが好きなこと、一人でできることや道具を使用する場面では得意なことが多いこと、思ったより要求発信が多いことなどたくさんのが見えてきた。A君の要求を整理し、特に重視して取り上げたいものとして、次の3点に絞った。

- ①褒められるとうれしい
- ②人にかまってほしい
- ③一人でいたい(ときがある)

このうちの①について、二つの授業において重点的に取り上げる場面を設定し、研究を進めていくこととした。

(3) 付箋紙による行動観察の積み上げ

付箋紙による観察の積み上げは、中学部の教師全員がA君に対しての気づきを出し合うことにより、一人では意味がつかめなかった発信に対してもその意味を分析することができるなど、全体像を把握するのに有効であった。学部研究会ごとに重ねてきた行動観察において行われた分析の記録の一部が下図である。

<第11回 学部研究会記録より>

第11回 学部研究会 記録 2008.11.18			
1. 10月20日～11月18日までのA君の様子を観察から			
A君の様子を観察	読み取れるニーズ・興味・関心・行動の特徴		
裁断機に興味を持ち、よく待た	11/10 カレンダーを裁断するための裁断機に興味がある。教師がカレンダーを裁断機にセットするまで待つ。1回目は失敗したが2回目は裁断できた。	・新しい道具に興味がある。 ・セットしてから裁断という見通しがある。 ・失敗の経験を活かす。	新しい道具に興味があるね
友だちに近づき、「こちよこちよ」と言って…	11/12 来年のカレンダーを巻くのに意欲的である。土曜は青、日曜は赤で書く。大の月、小の月も間違えずに日数を書く。欄が足りないのを見つけて離しそうである。	・カレンダーに興味がある。理解している。 ・手本があれば見てわかる。	相手をして欲しいんだね
教師のうっかりを嬉しそうに指摘	11/18 11/18 高等部のN君にわざわざ近づき笑いながら声をかける 11/18 高等部のYさんに「こちよこちよ」と言って近づく。	・相手をして欲しい。 ・顔と名前の一瞬。教師、生徒の名前をよく知っている	調理活動は好きなようだね
少し待って、コードの片付けを手伝ってくれた	11/18 学習発表会のとうがんスープの店のポスターを描く場面。写真を見て自分で言葉を考えてどんどん書く。 11/18 「ツツン」と言って教師にちよっかを出す。 10/23 昼休みに教師のポケットに手を入れる	・調理活動が好き。 ・写真の理解。 ・相手をしてほしい。 ・「この教師にはこの関わり」という関わりがある。	気持ちが不安定になる度合いが以前よりも小さくなった
A君の番になると教師の手を自分の頭にもってきてなでてもらった	11/18 教師が宿題を出し忘れたが、自分でノートに書いてきた。教師が忘れたことを嬉しそうに言う。 11/18 牛乳にココアを入れるのに「ちよっこんでね」と言われ、気持ちが不安定になる2口飲んだ。	・毎日、宿題があることがわかる。見通しがある。 ・からかいの気持ち？ ・気持ちの不安定になる度合いが以前よりも小さくなった。受け入れる許容量が大きくなった。 ・穏やかなことばかけが良い。	穏やかな言葉かけが良い
音楽の始まりのCDデッキの準備とスイッチを担当	10/23 終わりの会前近くの生徒の背中を叩く。 10/20 プロジェクターの片付けの際にA君がコード類をさざりだしたので「しばらく待て」と言う待ち、コード類の片付けを手伝ってくれた。	・コードに興味がある。 ・見通しが持て待てる。	コードに興味がある 見通しも持てるね
私たちが目指したいのは…自分からやってみる姿…	11/18 授業のまとめの場面では1人1人の顔をなでていた。A君の番になると教師の手の下に自分の顔をもってきた。 11/14 演し台の三角コーナーのネットを金曜日に変換することを覚えていた。上手に変換した。三角コーナーの裏をタワシで洗う。ブッシュ式の石鹸で3ブッシュして教師に「エー」といわれ嬉しそう。	・褒めてほしい。 ・「顔をなでる」=「褒める」がわかる。 ・先の予定を覚えている。 ・練習である。 ・相手をしてもらえると嬉しい。	褒めて欲しいんだね 相手をしてもらえると嬉しいんだね
そんな姿がみられるための要因は以下のことだね	11/13 ろうそくの店のポスター書きの場面。教師の声かけで書き始める手が止まる。ろうそくの写物を見本として机上に置く書き始めた。 11/12 学部集会の始まりと終わりにCDデッキの準備と片付けを担当する。 →パリンをタイミング良く鳴らす。	・見本との距離は近いほうが見通しをも取り始める。 ・役割の意識がある。 ・リズム感がある。	一人でいたい時もあるみたいだけだね 役割の意識があるね
活動に目新しさを取り入れよう	何回か同じ活動を繰り返すと自分から取り組める	・初めの数回は消極的に見えるが本人なりに準備段階をしている。(教師や周りの生徒集団の様子から) ・先取りしないで待つ。	先取りしないで待とう
引き継ぎA君の日頃の観察記録をつける。マイナス面にも注意を払う。	私たちが目指したいのは「A君が自分からやってみる姿(内発性に基づく)がみられるような授業づくり」である。 そのために、日頃のA君の様子を観察することから始めた。これまでの観察の分析から見えてきたA君が自分からやってみる姿がみられるための要因は以下のことがらである。 ・新しい道具に興味がある。活動に少しずつ目新しさを入れる。 ・見本との距離は近いほうが見通しをもって取り始める。 ・役割を覚えてもらう。 ・褒める。 ・真摯を活かした取り組み ・先取りしないで待つ。 ・穏やかなことばかけ	・活動に目新しさを取り入れよう ・集団を活かした取り組みをしよう	

<第12回 学部研究会記録より>

第12回 学部研究会 記録 2008.11.26

1. 11月19日～11月26日までのA君の様子を観察から
プラス面

読み取れるニーズ・興味・関心・行動の特徴
(意味)

A君の様子を観察
(事実) プラス面

音楽の内容の一部変更に対する発言が...

掃除の時間に机を拭きながらリズムタイムの歌を歌っている

教師の膝に座りツンツンを要求してきた

個別学習のスケジュール表を見て最後まで課題をした

音楽の前に教師からのCDの声かけを注目してよく聞く

「カメラとるね」と言って教師の前に座りストレッチをした

普段してないのにすごいねー!(^_^)

A君の様子を観察
(事実) マイナス面

音楽でタンバリンを鳴らさないね

A君の様子を観察 (事実)	読み取れるニーズ・興味・関心・行動の特徴 (意味)
11/19 登校後、Tさんの背中を背で押しニコニコしている	・Tさんに興味? ・関わりを要求?
11/19 音楽の時間。予定の歌が1曲減る。「サンバないねえ」と言う。今日から新しいリズム打ちの曲になった。「パンパン終わったねえ」と言う。	・確認している。
11/21 トウガンスूप作り。隣の近くでずつと居た。	・調理に興味。
11/21 給食で牛乳は嫌いなのに牛乳入りの味噌汁は飲む。	・味が良かった?
11/21 掃除の時間に机を拭きながら「石川サンバ」を歌っている	・聞いていないようで聞いている。
11/21 朝礼前、部室から出てきて「中村先生シーね。(静かに)」と言ってきた。部室で電話中に言われたようだ。	・言われたことを誰かに言いたかった?
11/21 教師の膝に座る。ツンツンを要求(つつく関わり)	・相手をしてほしい
11/21 下校時。ジャンパーを着ないで出て行くので「ジャンパー」と言うに戻って来て着る。靴を持たないで出て行くので「靴」と言う。「トランポリン(行く)」と返事。	・予定がわかる。
11/21 教師の声かけで学部集会のCDを準備する。曲が終わるとスイッチをOFFにする。	・曲を聴いている。 ・声かけで動くが自らは準備しない。
11/25 「雨があがったよ...」の歌が流れると歩き出した。	・以前にこの曲で歩いた経験がある?
11/26 個別学習。スケジュール表を見て最後まで課題を行なう。	・することがわかると取り組める
11/26 美術。とうがんの写生。教師の示範どおりに行なう。	・手本をよく見ている
11/26 学部集会前に教師の「CD音楽ね」の声かけに注目してよく聞く。	・自分の役割がわかってきた?
11/26 リズムタイム。「カメラとるね」と言って教師の前に座る。ストレッチをする。	・前日のこの教師とのカメラのやりとりを覚えていて関わりを求めてきた? ストレッチをするために座ったのではなさそう。
11/26 CDを準備する。曲が終わるとスイッチをOFFにする。	・曲を聴いている。
11/26 「だめ」と言いながらコンセントをさわろうとする。ニコニコしている。	・関わりを求める
11/26 朝。女子更衣室を覗く	・「キヤー」の反応の期待? ・忌避別?
11/26 学部集会のCDを教師の声かけで準備する。曲が終わるとスイッチを切る。袋めると返しそう。	・袋の意識が少しでできた?

変更を確認しているね

ちゃんと聞いていたんだね

自分から相手をしてほしくてきたんだね

することがわかると頑張れるんだね

自分の役割がわかってきたからかな?

前日の教師とのやりとりを覚えていてかわりを求めてきたんだね

ストレッチをしにきたんじゃないのかー...(>_<)

馴染みが少ないからかな?

マイナス面

A君の様子を観察 (事実)	読み取れるニーズ・興味・関心・行動の特徴 (意味)
11/21 リズムタイム。部室には入るが、窓前で座っている。	・意欲の問題?
11/26 音楽の時間。新しいリズム打ちの場面でタンバリンを鳴らさない。教師が目の前で手本を見せるが鳴らさない。	・意欲の問題? ・馴染みが少なく取り組めない?

場面を切り取った観察でも、教師全員で話し合うことでその行動の前後の文脈がつながりその行動の意味がわかる。

例: 11/26 リズムタイム。「カメラとるね」と言って教師の前に座る。ストレッチをする。前日のこの教師とのカメラのやりとりを覚えていて関わりを求めてきた? ストレッチをするために座ったのではなさそう。

場面を切り取った観察でも、全員で話し合うことでその行動の意味がわかったね!(^_^)/

そうそう!
やっぱりこんなことをA君に
してきて良かったんだね!

ICF 整理シートによる整理やこのような行動観察を通して、学部全体として授業実践にあたって大切にしたいこと、A君の主体的な行動を促すために大切にしたいことを、以下のように確認して取り組んだ。



- * 役割活動の設定：見通しがもてる・褒め認める場面となる→集団の一員の意識
- * 見通しが持ちやすい活動、その繰り返し：活動の習熟 → 自信
- * わかりやすい見本や手本：見やすい距離や提示が有効 → 意欲
- * 興味ある教材・教具：新しい道具への興味・関心 → 意欲
- * 少しずつ目先を変えた、発展性のある活動：新しい活動への興味・関心 → 意欲
- * 本人の気持ちの汲み取り・尊重：「いや」「しない」を認める見守り
他の活動選択肢の準備 → 心理的安定
- * 肯定的で穏やかな言葉かけ：気持ちの共感・共有 → 心理的安定 信頼感

(4) 主体的に取り組む姿を育み増やすことをめざした授業作り（授業実践と分析）

昨年度（A君が1年生）の学校生活を振り返ると、縦割りの課題別学習集団による授業「グループ学習」の時間において、特に「和紙作り」に取り組む授業においてA君が主体的に取り組むように変化していく様子がよく見られたことがあげられた。そこにA君のニーズに響く大きなヒントがあると考えた。

そこで、昨年度の成功例としてあげられる課題別グループ集団における授業を踏まえ、今回は、昨年度まとまって活動することがなかなか難しかった学年集団での「生活」の授業と、さらに大きな集団となる学部全員による「音楽」（学部集団学習）の二つの授業に重点的に取り組んだ。それぞれの授業の特徴は次のようである。

・「生活」：中学部2年の学級集団

（1年間過ごしてきた慣れた集団であり、集団としての成長もみられる）

・「音楽」：中学部集団

（昨年度から継続している見通しの持ちやすい活動であり、多数の教師とのかかわりがある）

これらの授業において、A君が主体的に取り組む姿を育み増やすことをめざした授業作りに取り組んだ。特に「音楽」においては、授業分析にあたって研究協力者の助言を受けてアクションリサーチ（注1）の方法論を取り入れた。

3. 授業実践と考察

(1)「和紙作り」を通したグループでの取り組み〔昨年度1年間の経過を振り返って〕

①グループ学習における「和紙作り」について

本校中学部では、学年混合で課題別に小集団に分けグループ学習を行っている。中でもA君の所属するグループは、主な活動場所を図工室とし、週2時間作業学習として「和紙作り」を行っている。「和紙作り」は、牛乳パック切り・ラミネートむき・紙ちぎり・パルプ玉作り（ミキサー）・色つけ（ミキサー）・紙すきの6つの工程で構成されている。一つ一つの工程が単純でわかりやすく、ミキサーを使うなど生徒の興味も引きやすい。やりたい仕事を選択することができるとともに、協力して製品を作り上げるという達成感も感じることができる活動である。道具の置き場所を決めたり、道具や手順を写真カードで表したりするなど生徒にもわかりやすいようにしている。

A君は、機械に興味を持ち、細かい手作業も得意であるという小学部の頃からの様子もあり、入学当初はミキサーでパルプ玉を作る工程を繰り返し行っていた。しかし、その後ほとんど活動に取り組みない不安定な時期を過ごし、A君の思いを様々に読み取りながら、落ち着いて仕事ができるようになるまでの取り組みの様子を以下に示す。

②グループ学習での取り組みの様子〔 はA君、 は教師の重要と思われること〕

	グループでの様子	教師の読み取り・働きかけ	日常生活の様子
平成19年度			
まじめ期	<p>〈入学当初〉ミキサーでパルプ玉を作る手順を覚え、一人で取り組む。ミキサーを楽しみ繰り返し取り組むことができる。紙ちぎりも落ち着いてできる。</p>	<p>さすがAくん。器用だね。課題はすぐに覚えてこなすことができるね。</p> <p>・課題はそのまま継続</p>	<p>・理由がわからず突然怒り出すことが日常生活の中である。</p>
↓	<p>〈6月〉何をを用意してもやろうとせず、「図工室（へ行こう）」と誘っても行こうとしない。</p> <p>・わかっているのにしりたいこと優先で取り組めない。笑って逃げる。</p> <p>・自転車に十分乗ったら乗り疲れたのか部室にあがってお茶を飲む。</p>	<p>がんばっているように見えるけど、本当はイヤなのかな？</p> <p>強い促しはやめよう！</p> <p>大人を試しているのかな？少し強めに言ってみようかな？</p>	<p>・何かを思い出してパニックを起こしているようである。</p> <p>・興味ある所に行ったり寝そべったり、自分のペースで過ごしている。</p> <p>・授業への参加が難しいことが多い。</p>
	<p>まじめすぎだった子が、自分を出せるようになったのかな？したいことを十分にさせてあげようかな？</p>	<p>泣いていても、今することを伝え、促してみようかな？</p> <p>・不安定であることが多く本人のペースでのんびり過ごせるようにする。</p>	<p>今までしていたことなのに、なぜ、しなくなったのだろうか？</p>
	<p>でも、そろそろ、何か活動に参加して欲しい！</p>	<p>朝から機嫌の悪い日もあるが、同じ活動でも波があるようだ！</p>	
↓	混乱期		

	グループでの様子	教師の読み取り・働きかけ	日常生活の様子
個別の課題期	<p>〈7月～9月〉 <u>近くにいくつも教材を置いておくと自分で選んで次々とできた。</u></p> <p>[ボールペン組み立て・ボルトとナット・アイロンビーズ・ワープロ]</p> <p>・教室にいられる日がでてくる。みんなと同じことをしないまでもその場にいられるようになる。</p> <p>・作業には取り組めないが、表情はよい。歌を歌ったり教師の膝に座ったり、言葉遊びをして楽しむ。</p> <p>甘えを認めてあげ、休み時間には遊んであげよう。</p>	<p>・「おでかけ」「買い物」「細かい手作業」など、過去の担任とも相談し、興味のあることを複数用意し、選べるようにする。</p> <p>・本人用の課題を用意</p> <p>・わかりやすい提示(視覚的情報) 言葉をかけるよりも写真やカード、実物を見せるようにする。</p> <p>少し、気持ちに余裕が出てきたかな?心はつながっているようでうれしい!</p>	<p>・突然怒り出すことが続いている。</p> <p>・活動に参加できる日は週に2,3日ある。</p> <p>日常生活を含め、時間がかかるが見守り姿勢で行こう。</p> <p>したいことをして、納得して移動できるようにしよう。パニックを起こしたときには落ち着くまでそっとしておこう。</p>
手探り期	<p>〈10月〉久しぶりにパルプ玉作りを一人で繰り返し行う。</p> <p>・自分から紙すきの工程を気にし、手伝いにやってくる。紙すきの写真カードを見て確認すると自分から手を出し、繰り返し紙すきをする。</p> <p>・紙すきで使った布の洗濯干しもできるようになり、全部一人で洗濯ばさみに干すようになる。</p>	<p>・他生徒は、同室で和紙作り作業を継続(集団の中の友達ちによる見本)</p> <p>自らとりかかることができてきたようだ。行動を見守るようにしよう。</p> <p>・実物(紙すきで使った布)を持ち、干すことの見本を目の前で示す。</p> <p>A君の得意な洗濯干しを役割にしよう。</p>	<p>・校地内から外に出る、友だちをたたくなど、まだ目が離せないことがある。</p> <p>・グラウンドを自転車で暴走することがなくなる。廊下をあちらこちら歩いて過ごすことが増えた。</p> <p>・様々な活動に落ち着いて取り組めることが多くなった。</p> <p>・教師とよく目が合いコミュニケーションもとれるようになる。</p>
熱心期	<p>〈3学期〉和紙を生かしたカレンダー作りから、<u>裁断機</u>やハトメの使用に興味を持ち集中して取り組むようになる。</p> <p>・自分から紙すきセットを全部用意して、座って待っている。紙すきの容器に水がいっぱいになったときも「水ジャー」と捨てて欲しいことを伝える。</p>	<p>新しい道具に、興味を持つことができた。よかった。裁断機とハトメの仕事はA君の担当にしよう。</p> <p>自分から全部準備をして待つなんて、すごい!要求の言葉も出て、うれしいな!</p>	<p>紙すきに、とっても興味があるんだな。紙すきの仕事はA君が優先的に選べるようにしよう。</p>

	グループでの様子		
	・ラミネートむきの工程を集中してたくさん行う。	様々な活動で、できて褒められることが多くなり、少し自信がついたかな？たくさん褒めてあげよう。	表情・発語・行動など、小さな発信を見逃さないようにしましょう。
平成 20 年度			
落ち着き期	〈今年度〉写真カードで、パック切りの工程を選び、 <u>自分から材料を全部準備して、根気よく全部切ってしまう。</u>	かまってほしいんだな。休み時間には遊んであげよう。	ふざけて、人をたたくという行動はあるが、活動の内容を確認し落ち着いて取り組む様子が見られる。
	どの仕事をしたいか、確実に選ばせてあげよう。	途中の少しののんびりは認めてあげよう。きっとまた始めてくれるよ。	

③グループ学習における考察

「なぜしなくなったのだろう」から「活動に参加してほしい」という願いを持ち、一年間の経過を経て、現在「自分で仕事を選び落ち着いて」作業に取り組めるようになった。

小学部時代熱中していたことも、「イヤ」と言い取り組めない姿から、「本当に好きだったのか」「させられていたのか」「パターン化してただけなのか」と悩む日々が続いた。しかし「イヤ」と言えるようになったということは、意思表示ができるようになったということである。そのことを前向きに受け止め、授業においては、安全面から教室の中にはいてほしいということを原則とし、

- ・強すぎる促しは避けよう
- ・わかりやすいよう環境を整え、声かけはできるだけ少なくしよう
- ・やりたいことを自分で選べるようにしましょう
- ・自ら取り組もうとする気持ちを大切にしよう

ということを教師の間で確認した。

また、A君にとっての「和紙作り」という活動を振り返り、

- ・ミキサーや紙すきセットなど道具の目新しさがあること
- ・複数の工程の中から、自分で選べる選択肢があること
- ・A君の自分のペースで取り組める活動であること
- ・毎回同じパターンを繰り返し、見通しを持ちやすいこと
- ・その日の仕事量を、材料の量であらかじめ決めることにより、終わりがわかりやすいこと

などがよかったのではないかと考えられる。



現在は決まって牛乳パック切りや、ラミネートむきの仕事を選ぶ。仕事としては単調ではあるが、表情も柔らかく、途中休憩を入れながらも自分のペースで集中して、かなりの仕事量をこなしている。させられているのではなく、自分の意思で仕事として選び取り組んでいる姿だと思われる。本当にやりがいを持ってしてくれているのだろうかという不安は残るが、新しい道具や素材を交えて少しでも主体的に取り組めるように工夫し、今後もA君の思いを読み取り活かす努力をしていきたい。



②実践の様子

(下線は、A君の言った言葉)

時期	教師の働きかけ・手立て	A君の主体的な行動	教師の読み取り
興味を持つ時期	見本の手作りろうそくや道具を見せ、教師がロウを砕く様子を見せる。 一人ずつの道具を準備する。 <u>A君の道具もあるよ。</u> 手順表を黒板に貼る。	教師がロウを砕く様子をじっと見ている。 自分で道具を取りに来て、机の上にセッティングする。ロウを金鋏で叩いて砕き、芯を取り出す。	興味がありそうだな。自分でもやってみたいんだろうな。 手順がわかってきたようだ。ロウを砕くのが面白いんだね。
	ロウを湯煎で溶かす様子を見せる。 <u>ほら、だんだんロウが溶けてくるよ。</u>	友だちと一緒に鍋を覗き込み、溶けていく様子をじっと見る。	ロウが溶ける様子に興味がありそうだな。
集中して意欲的な時期	ロウをかき混ぜる割り箸を準備する。 <u>だんだん溶けてきたねえ。</u>	自分でロウを割り箸でかきまわしている。 <u>「まだ溶けないねえ」</u>	溶けていく様子がおもしろいんだな。
	湯煎用のコンロの準備なども任せて見守る。 <u>ここにカセットボンベを置いておくよ。</u>	コンロにボンベを装着する。鍋に水を入れてかけた後、点火する。	しっかりわかっているね！今までよく見ていたんだな。
	<u>失敗、失敗、でも大丈夫だよ！</u>	湯煎の容器の中のロウに鍋の湯を足す。	ロウが足りないと思ったのかな。水もロウも透明で同じだと思ったんだね。
	青に着色したろうそくを見せる。他の子には教師が顔料を入れてあげたが、A君にはピンセットを渡してみる。 <u>ピンセットで少しつまんで入れるよ。</u>	ピンセットで慎重に顔料をつまんでロウに加える。湯煎でロウが青くなっていく様子をじっと見ている。 <u>「青いね」</u>	自分でピンセットでつまんで入れたことが満足だったかな。ロウの色に興味もてたようだ。
	授業前に数色の顔料のビン入りの箱を教卓上に準備した。	ビンを取り出して見ている。	他の色もあることに気づいたね。
赤や緑、黄色の顔料を順次提示していき、自分の好きな色を選べるようにする。混色もできることを伝える。	<u>「赤」「緑」「黄色いろうそく作ろう」</u> とその日によって色を選ぶ。教師を見て <u>「ピンセット」</u> と要求する。	自分の作りたい色があるんだね。 早く作りたいんだな。	

時期	教師の働きかけ・手立て	A君の主体的な行動	教師の読み取り
慣れ て き た 時 期	溶けたロウを注ぐいろいろな容器を準備しておく。 <div data-bbox="302 331 635 442">どのカップにしてもいいよ。</div> <div data-bbox="287 464 650 575">A君のろうそく、できたねえ！</div>	好きなカップに慎重にロウを注ぐ。手渡された芯をロウに垂らし、長机まで運んで置く。翌日登校後に、固まったろうそくを型から出して見ている。	自分のろうそくがどうなっているのか気になったんだね。
	ラメを塗ったろうそくを見せる。 <div data-bbox="287 641 816 707">何色のラメを塗ってもいいよ。</div>	何度もラメを塗り重ねる。	新しい活動には興味があるね。
	繰り返してきた活動なので、声かけなどは少なめにする。 <div data-bbox="302 818 635 929">どうぞ、始めていいよ。</div> <div data-bbox="347 940 657 1172"></div> <p>見守る。</p> <p>『ハッピータイム 100 回記念パーティー』に向けて、小さいろうそくを2個分ずつ作ろう、という話をする。</p> <p>* 時間割変更で「生活」の授業ができないと朝の会で伝える。</p>	自分で道具一式をそろえ、すぐにロウ砕きに取り組み始める。細かいロウも拾って容器に入れる。「黄色」と言い顔料をつまんで入れる。コンロに点火。軍手をはめてロウを注ぎ芯を垂らす。	<div data-bbox="1043 718 1360 951"></div> <p>すっかり慣れてきて、自信がついてきたなあ。</p>
		ニコニコしながら黒板を見て話を聴いている。「クリスマスカラーや」の教師の言葉で、クリスマスの歌を歌いだす。	予定の話には興味があるんだなあ。鼻歌も出るのは、ろうそく作りに慣れて余裕があるからだね。
		5 限目になると「ろうそく、ないねえ」と教師に言う。	予定変更がわかっているも確認したいんだね。やりたかったのかな。

③主体的な姿が多くみられた要因の考察

- ・これまでに使ったことのない新しい素材や道具を使った活動であり、興味を持てた。
- ・ロウという素材の変化（溶ける・固まる・顔料の量によって色が変わる等）にも興味があり、最後には作品の仕上がりも見ることができたので、主体的に取り組めた。
- ・いくつかの製作手順があり、少しの難しさを含み、集中力も必要とされるため、手ごたえを感じることができた。また、自分のペースで取り組むことができた。
- ・製作工程において、ろうそくの色や模様、形や大きさ、ラメ飾りなど、自分の好みを反映できる選択場面があり、楽しめた。
- ・主体的な取り組みを促すための教師の働きかけが適切であった。

(3) 学部集団での「音楽」の取り組み

〔アクションリサーチの手法を参考にした試みを通して〕

これまでの実践等から、A君は目新しい素材や道具に関心があることや主体性を促すいろいろな手立てがみえてきた。ICF整理シートでの整理からは、係りの仕事をし終えた時、褒められるとうれしい表情を見せることに気づいた。また、付箋紙による行動観察からは、新しい道具に興味があることや褒められたいという気持ちがうかがわれ、鼻歌を歌う姿も見られた。以上の学びを活かして「音楽」の授業に取り組むこととした。

「音楽」では、A君にCDデッキを準備する係りになってもらった。係りの仕事を持つことで褒められる機会が増えると考えた。そして、「クリスマスコンサートをしよう」ということで、鼻歌でも聞かれていた馴染みのある曲を提示し、好みの楽器を選んで練習し、みんなの前で演奏する機会を設定した。目新しい道具に関心のあるA君は、いろいろな楽器に興味を持ち、主体的に楽器を選ぶのではないかと考えた。

また、「音楽」は学部全体の集団学習であり指導する教員の数が多いため、大きな集団には部分的にしか参加できなかったA君の姿を多くの視点から捉えることができると考えた。

①「クリスマスコンサートをしよう！」について

この単元の流れは、

導入：いろいろな楽器に触れてみよう（1～2回目）

好きな曲（2曲から1曲選ぶ）と楽器を選び、曲にあわせてリズムを刻んでみよう（3回目）

主活動：グループに分かれての練習（4～6回目）

発表：コンサートをしよう（7回目） となっている。

まず導入（1～3回目）では、さまざまな楽器を準備し、やってみたい楽器を手にとって十分試せるよう時間を確保した。自分のやりたい楽器を選ぶ時間を十分確保することは、自分のしたい気持ちがはっきり自分でわかり、揺るがないものとなり、それが主体的に活動することにつながると考えたからである。また友だちや教師が演奏している様子を見ることや、自分で実際手にとって演奏することが、個々の練習ではあるが一斉に流れる音の中で一緒に練習しているのだと気づかせることができるのではないかと考えた。

次に主活動（4～6回目）では、選んだ曲目のグループに分かれ自分の選んだ楽器で演奏する練習を行なった。今まで大きな集団での学習には、部分的にしか参加できなかったA君だが、コンサートに向けて一緒に練習することで、友だちと協力して作り上げる喜びを体験できるのではないかと考えた。

最後の発表（7回目）では、練習してきた演奏をみんなの前で発表した。順番に発表の出番が来るまで自分の場所で待ち、順番が来たら前に出て、楽器を準備し一緒に演奏することで、一緒に演奏し終えた充実感が得られるのではないかと考えた。

②取り組みの様子と分析

毎回の授業では、A君の行動を観察し、その日のうちに教師がすぐ気づきを出し合いA君の行動の背景にある思いの読み取りをした。その中で、A君への気づきと教師の働きかけの気づきなどを三点ほどに絞り込み、大事な観点として次時の活動に盛り込んだ。その取り組みの様子と分析を以下に示す。

毎時間の記録用紙

	Aくんの様子	教師の読みとり
1回目	<p>ベスト3</p> <p>クリスマスコンサートをしよう!</p> <p>・席に座らず、ホールの後方や前方で歩き回っていることが多い</p> <p>・みんなの2回目の演奏のときに、軽く壁をたたいたりして表情が硬い</p> <p>・声をかけられるとすぐに木琴の前行き、ハチを持つ曲にしっかり合わせて演奏できた</p> <p>・木琴を選びやすいように、数を増やしておこう!</p> <p>・座らないときなど、指示・命令形の言葉かけを避けよう!</p>	<p>・活動の内容には注目しており、笑顔も見られる気に入らなくて歩いているのではなさそう</p> <p>・教師に対するアピールでは? 演奏に加わりたかったのではないかと3回目には、「どれにする?」と声をかける</p> <p>・自分からは言えなかったが、タイミングよく声をかけてもらって、演奏に加わることができた</p>
2回目	<p>ベスト4</p> <p>ジングルベル・あわてんぼうのサンタクロースの練習をしよう! 清琴の練習をしよう!</p> <p>・始まり、終わりのあいさつの当番をしようと、前へ出て行った</p> <p>・「どれにする?」の声かけにアコーディオンを選んだ</p> <p>・アコーディオンの弾き方を先生に言われ、楽器に聞いて見せていた</p> <p>・クリスマスの歌はなあに?の問いかけにすぐ「ジングルベル、赤鼻のトナカイ」答えることができた</p> <p>・活動のきっかけになる一言を待っているのかもしれない</p> <p>・繰り返し練習は大切 ピークは3~4回目かな</p> <p>・クリスマスコンサートを楽しみにしているね</p> <p>どの場面で一斉声をかけたらよいかあ...</p>	<p>・楽器を見ていて、楽しみにしていたから声かけに対して、はずみで手を挙げたのかも?</p> <p>・新しい楽器を試してみたんだねえ~</p> <p>・弾いてみたい気持ちが大きかった</p> <p>・話を聞いていた。</p>
3回目	<p>ベスト4</p> <p>ジングルベル・あわてんぼうのサンタクロースの練習をしよう!</p> <p>・ぐるぐる回っている</p> <p>・曲名を発表したとき、見に来ていた</p> <p>・木琴、ミュージックベル、アコーディオン先生が声をかけたとき目の前にあった楽器を選んだ</p> <p>・話をしているときは中々の部屋にいたことが多かった</p> <p>・楽器が選べるように写真を準備しよう</p> <p>・話は短く、はっきりと言おう</p> <p>・クリスマスコンサートを本当に楽しみにしているね</p>	<p>・機嫌がよいねえ~</p> <p>・日程、予定が気になるんだな~</p> <p>・それぞれの楽器をうれしそうに叩く</p> <p>・話はあんまり聞きたくないな~</p>

A君の変容

教師の気づき

客観的な視点から

表情が硬いのは新しい活動だったから?

声をかけてもらい、木琴を叩く 木琴はいい表情

目新しいアコーディオンを選んだ

前時の経験があり楽器を見て本時の予想ができたからか、あいさつや、曲名に答えるなど反応が良い

アコーディオンの弾き方も良く見えていた

曲名を気にして、見に来ていた。

機嫌もよく、いろいろな楽器をうれしそうに演奏

A君についてわからないことが多く、全員の教師で、気づく限り多くのことを長い時間をかけて出し合う

1学期からの予想からも木琴を選ぶと思ひ数を増やしたが...

主体性を求めたため「どれにする?」「なあに?」などの、声かけにする

何も言わないと、自分から手を出せずに、本当はしたくても取り掛かれないかも...

タイミングや言葉の選択が難しい

本当にその楽器をしたいのかわからない??自信がなく、写真を作ることにした

目の前にあるから? 気づかぬうちに教師が示しているから?

話のときは、気にはしているが中ホールにはいないので好きではないのだろう 次からはすぐに練習に入ることにしよう

A君に振り回されてきている状態

この気づきは大きい! 「押し付けではなく主体性を発揮できるような支援」

迷いがあり、不安でいろいろ試行錯誤している

- ・楽器の選択
- ・歩き回ること

<p>4回目</p> <p>次時に向けて</p>	<p>ベスト3</p> <p>ジングルベル・あわてんぼうのサンタクロースの練習をしよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> ジングルベル、あわてんぼうのサンタクロースどっちにする?と問いかけるとジングルベルと大きな声で答えた 楽器はすぐにアコーディオンを選んだ 中学部3年の教室に入ったまま、なかなか出てこられなかった <p>→ やっぱり、ジングルベルが、好きなのね~</p> <p>→ やっぱりアコーディオンが好きなんだね~</p> <p>→ 息抜きをする場所が必要だね</p> <p>楽器はアコーディオンが好きなんだね</p> <p>ジングルベルが好きなんだね</p> <p>息抜きする場所を確保しよう</p>
<p>5回目</p> <p>次時に向けて</p>	<p>ベスト4</p> <p>ジングルベル・あわてんぼうのサンタクロースを練習をしよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> 廊下から出ずに何度も予定を見ていた CDデッキを準備する時間が短くなった 自分の演奏する曲や楽器をはっきりわかってきた 教師を見ながら演奏しようとする姿がみられた <p>→ 息抜きができる中3の部屋を解放したのが良かった。</p> <p>→ 掃除時間がなく、自分の時間で動けた</p> <p>→ 練習に参加することができた</p> <p>→ 新しい曲も聴けて練習することで自信がますます</p> <p>自分の日程で動けるように、時間を考慮しながら動けるよう声をかけよ</p> <p>継続して行うと自信を持ててくれるね</p> <p>CDは自分の仕事として、定着したね</p>
<p>6回目</p> <p>次時に向けて</p>	<p>ベスト3</p> <p>ジングルベル・あわてんぼうのサンタクロース練習をしよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習中、一回で終わらず置っていた。 来週の予定の時も後ろのほうに座って見ていた。 CDを鳴らす一音が小さいボリューム設定し忘れ戻すだけそのままにしていた。 人の動作をよく見る、わかる。 <p>→ 授業の流れが良く理解できたのね~</p> <p>→ 予定が気になっていたのね</p> <p>→ ボリュームまで、気にすることができたのね</p> <p>→ 友だちが注意されていたことをよく感じていたね</p> <p>A君時間を確保できるように、声をかけよう</p> <p>アコーディオンは、ちょっと違っていても、練習に参加できたね</p> <p>友だちの動きをよく見ていたんだね~</p>
<p>7回目</p> <p>今後に向けて</p>	<p>ベスト3</p> <p>本番:クリスマスコンサート!!!</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の楽器を持って準備することができた 自分の演奏の時、前に座って演奏することができた 友だちと同じ場所じゃなくても、話が聞けるところで参加することができた <p>→ 自分で選んだ、好きな楽器だったんだね~</p> <p>→ 自分の出番がわかっていたんだね</p> <p>→ 自分の落ち着く場所や、自分が調整できる空間を理解しているんだね~</p> <p>予定などは、すぐ確認し期待することはできるが、心の実音は難しいですね~</p> <p>私たちの期待する変化が見られたね~</p> <p>行動の変化が現れてきたが行動の裏付けのことがよくわからない</p>

要求意思の明確化

写真は必要ではなかった

すぐにアコーディオンを選んだ
「ジングルベル」と大きな声で言えた

廊下で歩き回ってしまった

自分の演奏する曲や楽器が、はっきりわかってきた
演奏しようと努力する姿などからも自信を持てている様子

CDの仕事も定着したし
役割にして良かったね

授業の流れが理解できた
予定を気にしたり、友だちの動きもよく見えていた

自分の楽器を持って準備
自分の出番の理解

求めている主体的な姿

中3の教室に入ったまま出てこないのなら、イスを置いて入れないようにしてみようか?

中3にいるときでも聞いていて、興味のあることはちゃんと覗き込みに来るので、居場所として中3はふさがないようにしよう

教師の強い思いで封鎖しても子どもの行動は変えられないことに気づく

表情や行動から楽しみにしていることがわかり、この企画が間違いではなかったと確認
継続のよさについても確信!

期待する変化「主体的な姿」は見えた!?
でも本人からの言葉がなく、やはり不安!

行動をまったく変えることは難しいね
今後も探って行こう

アコーディオンについては、確信が持てた!でも歩き回ることについては不安!

教師の意識の転換

教師の観点が具体的、肯定的に変化
A君の「何がしたい」が明確になってきたから、教師の読み取りも早くなった

A君の居場所について受容的になった

③考察

この「クリスマスコンサート」の取り組みでのA君の様子を振り返ってみると、A君が自らアコーディオンを手に取り、みんなと一緒に演奏の輪の中に入ってくる様子が見られたことから、当初の目的であった「A君の主体的に取り組む姿を引き出す」ことはできたと考えられる。そこからは、これまでの取り組みにより導き出されたA君の実態を授業の中に活かしてきたこと、多くの教師が実際の授業を見ながらアイデアを出し合って次時に活かしていったことに成果があったと捉えることができる。



手を差し出すA君

ただ、アクションリサーチの手法によりこれまでの授業の様子をもう一度振り返ってみる中で、その他にも様々なことが見えてきた。この「クリスマスコンサート」の取り組み全7回のうち、A君が初めて自ら活動の内容に沿った行動を起こしてきたのは4回目である。その4回目を境に教師の次時への支援のアイデアがより明確になっている。それならばA君が4回目に見せてくれたような行動をもっと前の段階で導き出すこともできたのかもしれない。そのためには活動の内容をA君がもっと早く理解できるような提示の方法があったのではないだろうか。



楽しく演奏するA君

また、この活動の中ではA君と他の生徒とのかかわりはほとんど見られなかったが、学部全体での活動であることや、A君が他の生徒とのかかわりを持とうとする実態からも、もっと違ったアプローチの方法が考えられるのではないかと思われた。

このような新たに得た視点を、今後音楽での次時の活動だけでなく、その他の授業にも活かしていくことが必要なのではないだろうか。

4. まとめ

私たちがこの研究を進めるにあたっては、「A君が主体的に取り組む姿」をA君の思いの発信であると仮定し、そのような姿を引き出せるように実態把握や授業作りに取り組んできた。

ICF整理シートや付箋紙を使つての行動観察からは、学部の教師全員で学校生活全般においてA君を見てきたことで、これまでにA君の発信を見過ごしていたことがあったことに気づかされた。そして改めてA君の全体像について教師全員で共通理解を図ることができた。授業実践では、A君が主体的に取り組む姿が多く見られるようになってきた、昨年度のグループでの活動や今年度初めから取り組んでいる学級での活動を振り返ることから、A君が主体的に取り組めるために必要と思われる観点を導き出すことができた。

これらから見えたA君像を活かしての「音楽」での取り組みにおいて、A君が自ら活動に入ってくる姿や楽しそうな表情を見ることができた。このことは、私たちの読み取ってきたA君像や、それを活かした授業作りについては一定の成果があったと考えられるだろう。

A君のように明確に自分の思いを伝えられない生徒に対して、その思いを正確に読み取

るためには、一つ一つの行動の背景にどのような思いが隠れているのかを読み取る教師の力量が必要だと改めて感じている。行動の変化を見ることはできても心の変容まで捉えることは難しく、“生徒の思いに沿えているのだろうか”という思いは常にくすぶり続けている。そのような中で、教師の主観、直感を重視したアクションリサーチの手法を取り入れたこと、そして、教師全員で確認しながらA君を捉えようとしてきたことは、A君の思いだけでなく私たち教師の思いをも客観的に見直すことにつながり、私たちの授業における取り組みの方向性を決める拠り所となった。

今回の研究で初めて、アクションリサーチの手法を取り入れながら授業を組み立てていく取り組みを経験したが、その実践期間はまだ十分でなく、これからも継続していく必要があると思っている。その結果新たなA君像が見え、私たち教師の思いも変わっていくものと思われる。私たちが絶えず“これで良いのだろうか”という気持ちを持ちつつ、A君の思いを推測しながら授業を作っていくという姿勢は、今後も持ち続けていかなければならないと考えている。

(注1)

アクションリサーチ (出所:「心理学辞典」1971年 ミネルヴァ書房 P2より)

社会的な諸問題の解決や現状の変革を目的とした実践活動が効果的に推進されるためには、その成果が客観的、科学的に評価されねばならず、そのためには実践の過程を一つの仮説検証の場としてとらえる必要があるという考えのもとで Levin, K.によって提唱された実践的研究の方法をいう。問題または目的の設定、現状についての資料の収集と分析、具体的な目的の設定、仮説としての実践計画の立案、実践活動、結果の記述と評価という手続きを通じて、実践活動と研究活動とが一体化される。

「心理学マニュアル 観察法」北大路書房 P47より抜粋